

みなさんの思いを町へ届けます

辰野町 議会だより

No.66



絵・せきもとなおひろ

今月の記事

辰野町議会新体制でスタート!!

- 6月定例会 審議結果 …… 2P
- 一般質問 …… 6P
- 就任の挨拶・抱負 …… 12P

辰野高校存続に向け 総務課に窓口を設置

町長閉会あいさつで

県立高校再編問題

辰野高校の存続を求める意見書提出

6月定例会は、5月29日に開会し、6月12日までの日程で開催されました。

今議会では、長野県教育委員会が3月に示した「高校フロンティア改革 学びの改革 基本構想」に基づく高校再編をめぐる、一般質問や請願の審査等が行われました。



岐路に立つ辰野高校

今議会に付議された議案等は、町提出の条例の一部改正2件、平成28年度一般会計・特別会計補正予算12件、平成29年度一般会計・特別会計補正予算3件、人事・契約関係4件（追加提案含む）と報告事項4件、請願採択に伴う議員提出議案4件でした。

この内、初日に条例改正1件、補正予算14件、人事・契約関係3件を可決しました。また、条例改正1件、請願4件の審査を各常任委員会へ付託、29年度一般会計補正予算について自宅審査としました。

最終日には、自宅審査に付された補正予算1件と最終日に追加された契約1件を可決

しました。また、委員会に付託された条例1件について委員長の審査報告があり、報告のとおり可決しました。

請願については、委員長の委員会審査報告に基づき採決の結果、いずれも採択しました。これを踏まえて、意見書の提出を求める議案4件が議員提出され、可決のうえ、県等へ意見書を提出しました。

加島町長 一般質問にて進退を明言

11月に1期目の任期満了を迎える加島町長は、6月定例会の堀内武男議員の一般質問に答え、「これからは声高らかに夢を語ることがリーダーに求められる資質と考える、私は役目を終えていいのかと思う」と、町長選挙への不出馬を表明しました。

加島町長の進退については同議員が、3月議会にも出馬表明を促していましたが「6月議会にでもと思う」とし、この日の進退表明となったも

(委員会報告のページ参照)

一般質問は5日・6日に行われ、議員12人が質問に立ち、辰野高校の存続問題、ウオーターパークリノベーション事業、スマートインターチェンジ等について議論されました。なお、町長は閉会あいさつで、辰野高校存続に向け、町の窓口を総務課に設けることを明らかにしました。

のです。なお、今回は、堀内彰議員も、町長の進退について質問通告をしていました。



答弁に立つ加島町長

臨時議会

5月1日

第4回辰野町議会臨時会

申し合わせによる任期満了に伴う正副議長選及び議会常任委員会等の構成変更があり、次ページのとおりに新構成が決まりました。

また、辰野町・塩尻市小学校組合議会議員等の選出、消防委員会等審議委員を推薦しました。

5月15日

第5回辰野町議会臨時会

①監査委員に宮下敏夫議員を選任、②辰野町道1683号線の認定、③町管理の止水栓の不具合による漏水が原因の、空き家となった個人所有住宅の水道管凍結・破損による損害賠償の額72万円余の決定及び和解、の3議案を全会一致で可決しました。

6月定例会の主な審議内容

条例改正と主な内容

低所得世帯等の

保育料軽減拡大

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部改正

・保育料の改正（低所得1人親世帯等の保育料負担を軽減して非課税世帯と同額とし、その世帯の第2子以降を無料とする等）

○消防団員等公務災害補償条例の一部改正

・国の消防団員等の損害補償の基準改正に伴う改正

28年度各補正予算と主な内容

いずれも事業実績・確定による予算額の調整が主要内容。

それ以外の主な内容を記す。

○一般会計

・歳入の財政調整基金繰入金の減額、ふるさと寄付金の増額

・支出の財政調整基金積立金の増額、身体障害者等支援

○一般会計

事業の減額、年金生活者等支援臨時福祉給付金の減額、除雪委託料の増額等

○上水道事業会計

問 県道与地辰野線配水管工事の減額は。

答 県との協議により29年度以降の実施となった。

○町立辰野病院事業会計

問 外来の大幅減収の内容は。

答 延べ患者数で内科3千人減、整形外科2千人減。

○その他、簡易水道特別会計、公共下水道特別会計、特定環境保全公共下水道特別会計、農業集落排水処理施設特別会計、国民健康保険特別会計、国民健康保険診療特別会計、後期高齢者医療特別会計、地域情報告知システム特別会計、介護保険特別会計

その他の議案と主な内容

○平成28から29年度小野水処理センター建設工事委託に關する協定の変更

○平成29から30年度同工事委託に關する協定の変更

・以上2件は小野特環下水道水処理センター汚泥処理施設工事に関するもの

○社会資本整備総合交付金事業 業町道61号線工事請負契約

・小横川線崩落箇所改修工事

○監査委員の選任について

・三澤基孝氏の任期満了に伴

い同氏の再任に同意。

請願・陳情について

・別表（4ページ）のとおり

議員提出議案について

請願の採択に基づいて、議員発議により4件の意見書が提出・可決され、国・県へ意見書を提出。

報告事項と主な内容

○平成28年度一般会計繰越明許費繰越計算書

・ウオーターパークリノベーション事業、町道52号線補修工事等、9件、5億7千2百万円余の繰越

○平成28年度上水道事業会計予算繰越計算書

・小野駒沢浄水場整備事業工事請負費等3件、2億2千8百万円余の繰越

○平成28年度簡易水道特別会計予算繰越計算書

・下横川飯沼沢水源整備事業

○平成28年度土地開発公社事業決算及び29年度土地開発公社事業計画書の提出について

辰野町議会構成

平成29年5月1日付

正副議長			議長 岩田 清	副議長 堀内 武男		
総務産業常任委員会			福祉教育常任委員会		議会運営委員会	議会広報委員会
◎熊谷 久司	○小澤 睦美	○篠平 良平	◎堀内 彰	○向山 光	◎篠平 良平	◎向山 光
篠平 良平	中谷 道文	○山寺はる美	山寺はる美	宇治 徳庚	○山寺はる美	○瀬戸 純
瀬戸 純	宮下 敏夫	成瀬恵津子	成瀬恵津子	根橋 俊夫	宮下 敏夫	小澤 睦美
岩田 清		堀内 武男	堀内 武男		根橋 俊夫	中谷 道文
上伊那広域連合議会議員			岩田 清	堀内 武男	熊谷 久司	

(注) ◎は委員長、○は副委員長

委員会審査から

総務産業常委員会

- 請願審査
- 委員会活動報告



新町道路委員会との懇談会

意見書を提出して欲しいとするものです。

審査内容

委員会が収集した日本国憲法および憲法審査会に関する資料を用いて、その内容を確認しました。

意見

1. 慎重な論議を求めるものであり、憲法改正の賛成・反対を問うものではない。慎重な論議は必要であるので採択に賛成する。

2. 拙速な憲法改正は行わないというのが世論にあつている。もっと国民レベルでの議論を深めるべきであり賛成する。

3. 憲法改正自体は必要な部分があると考えているが、それには十分な議論も必要とも考えているので賛成する。

4. 基本的には賛成である。特に日本国憲法の上位に日米地位協定が存在する問題と、憲法第9条の2項を残したまま自衛隊が存在することについて慎重な議論を要する。

5. 慎重な憲法論議を求める

請願審査

慎重な憲法論議を求める請願
趣旨

昨年7月の参議院選挙の結果、憲法改正を主張する会派の構成が衆参それぞれの2/3を超え、憲法をめぐる議論が活発になってきたことを踏まえ、国会が拙速な審議によって憲法改正を発議することのないよう求める

請願・陳情の審議等の結果

件名	提出者	委員会審査	本会議		
			賛成	反対	議決結果
1 地域とともに歩む辰野高校の存続を求める意見書を県知事に提出するよう求める請願	辰野高等学校同窓会 辰野高等学校教職員組合	採択	13	0	採択
2 国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書	辰野町立学校教職員組合	採択	13	0	採択
3 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書	辰野町立学校教職員組合	採択	13	0	採択
4 慎重な憲法論議を求める請願	上伊那地区憲法を守る会	採択	13	0	採択

審査の結果

全員一致で可決すべきものと決しました。

ことに対して「反対はしないが、請願趣旨の文面で「世論調査では憲法改正を求める意見が減少傾向にある」としている部分が、実態に合っていない。

委員会活動報告

地域おこし協力隊・
集落支援員との懇談会

3月27日、総務産業委員会7名は、地域おこし協力隊2名及び集落支援員1名と懇談会を行いました。

鹿児島県出身の協力隊員・溜池さんが、いくつかある市町村の募集の中から辰野町を選んだ理由は、面接の時の町職員の印象が良かったとのことです。移住定住に関わっており建築士の資格があることから空き家の再利用に力を発揮しています。

辰野町出身の支援員・赤羽さんは、月曜から金曜まで辰野で暮らし、週末は家族がいる東京での2地域居住です。移住定住担当で1年経って、今やりがいを感じているとのことです。移住者の増加には空き家バンクの登録件数を増やすことが最も効果的です。空き家オーナーに登録依頼をするにあたり、地元区や近隣の人の紹介がなによりも大切で、区役員さんと交流を持って

たらと考えています。

兵庫県出身で協力隊員の関本さんは、雇用創出や観光関係を担当されています。イベント会場を飾る「のぼり旗」が最近できたのですが、これはイラストレーターの経験を活かし関本さんがデザインしたものです。またこの日はパソコンを持ち込み、「辰野町にお金が入る仕組みを作る」とのタイトルで関本さんのプレゼンテーションがありました。

「地元野菜や野草のアイデア料理でイベントを起し商品化し販売促進する取り組みが新しい仕事を創出する」とこんな提案がありました。議員からは、町の人口増加のために具体的に活動されている話が聞けて良かった、お互いに協力関係を作っていきたいとの発言がありました。



委員会審査から

福祉教育委員会

- 条例審査
- 請願審査



辰野病院全景

福祉教育常任委員会に付託された条例1件、請願3件について、6月12日、委員全員及び町長、教育長、担当職員出席のもと審査を行いました。

● 条例審査

■ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例の一部を改正する条例

国の施行令改正に伴い、町の保育料等を改正するもので、国が行った低所得世帯への保育料軽減措置を町ではさらに拡大しました。

● 保育料の改正の概要

低所得世帯の階層を細分化し、第6階層（住民税所得割額77、101円未満）までの一人親世帯等の保育料を第2階層（非課税世帯）と同額にして負担軽減を拡大。さらにその世帯の第2子以降を無料とする。

問 国の法令との関係は。

答 国の8階層の区分を町では細分化し、保育料も国より低くしている。

問 適用時期、還付は。

答 4月に遡って適用。還付は11件、8月以降の保育料で調整する。

審査の結果

全員一致で可決すべきものと決しました。

● 請願審査

地域とともに歩む辰野高校の存続を求める意見書を県知事に提出するよう求める請願

趣旨

本年3月、県教委は「高校フロントランナー改革 学びの改革 基本構想」を公表した。少子化が進む中「新たな社会を創造する力」を身に付ける教育が求められており、そのために高校の規模と配置の適正化が必要であるとしている。そして、「都市部存立校」と「中山間地存立校」とに分け、今後の統廃合基準を示した。

辰野高校は大正2年の開校以来、創立100周年を超える歴史と伝統を持つ。今後も産業、地域の活性化のため町に欠くことのできない学校であり、存続について格別の配慮を求める。

意見

1. 県教委は辰野高校をどう捉えているか、早急に情報収集、議論・分析が必要。
2. 辰野中学校卒業生の2割程度しか地元高校へ進学しない理由について議論が必要。

審査の結果

全員一致で採択すべきものと決しました。

国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書

趣旨

長野県では中学校3年生まで30人規模学級が実現しているが、法律・国の財政的裏付けがない。また複式学級の解消のために地方自治体の財政的負担が増大している。教員が一人ひとりの子供と向き合うためにも少人数学級の推進は重要。国の責任による少人数学級の推進、教育予算の増額、複式学級定員の引き下げを求める。

意見

1. 国会で付帯決議までされ、附則でも定めているのに、行政（政府）が進めていないことが一番の問題。
2. 現在長野県では県独自の財政負担のほか、専科の教員を回すなど、学校現場にも影響が出ている。
3. 複式学級の実態は大変。定数を是正すべきである。
4. 県下における複式学級の実態については調査が必要。

審査の結果 全員一致で採択すべきものと決しました。

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書

趣旨

1953年に義務教育費国庫負担制度が成立したが、その後、次々と国庫負担の対象項目を外し、一般財源化し、2006年の「三位一体」改革のなかで費用の負担割合は1/2から1/3に引き下げられ、地方財政を圧迫する状態が続いている。国庫負担率を1/2へ再び戻し、教育水準の維持・向上を図り、地方の財政状況による教育格差が広がらないよう制度の堅持・拡充を求める。

意見

1. 教育費国庫負担金制度から交付金（一般財源）化され、その中にどれだけ義務教育費が含まれているかわかりにくくなっている。

審査の結果

全員一致で採択すべきものと決しました。

長期計画で「自転車のまちたつの」を 町長 検討する価値がある



熊谷 久司 議員

問 自転車はエネルギー代がタダで、距離離であれば最速の乗り物である。そして健康的であり先進性がある。ヨーロッパの先進国では、通勤通学に20〜40%の人が利用している。ドイツのフライブルク市では40年間をかけて市内の自転車レーンを総延長420

kmまで整備し、市内どこでも自転車で快適に移動できるという。このような長期ビジョンで「自転車のまちたつの」は考えられないか。
町長 実現できれば素晴らしい町になる。
課長 町道8号線に自転車レーンを設けたが、歩道整備が不十分な中、自転車環境整備は大変。自動車社会になり過ぎているのは感じている。



町道8号線自転車専用レーン

北沢工業団地東地区の遺跡調査推進を
問 企業誘致にしても地元企業の拡張にしても、用地確保ができていて初めて可能になる。北沢工業団地東地区の農振指定、遺跡指定はどうなっているか。

課長 この地域は77筆9万5千㎡あり、平成18・19年に農振除外は済ませてある。遺跡調査関係は再試掘又は本調査が必要な区域がおよそ80%である。
問 今後の遺跡調査の計画はあるか。
課長 事前に調査を進めるのは先行投資になり難しい。企業の進出計画、要望に合わせて進めていく。
要望 町の強い経済を作り上げるといふ観点から、町負担で毎年少しずつでも計画を立てて進めてほしい。

ラジオ受信の改善を
問 町内のラジオ受信が良くないとの声を耳にする。2年ほど前からワイドFM放送というのが始まっており、AM放送の難聴地域の対策が始まっているようにだが改善は可能か。
課長 SBCでは中継局の補完として、国の補助金を得てFM化にむけて対応している。

地域交通体系見直しは 町民要望を基本に



根橋 俊夫 議員

町長 課題を整理し、関係住民の声を聞いて進めたい

地域交通体系の見直し
問 平成29年度に県の交通アドバイザー派遣事業に手上げをしているが、丸投げするのでなく、町独自の課題を絞ったうえでアドバイスを受けるよう取り組むべきと考えるが。

課長 丸投げではなく、課題を整理したうえで委託したい。
問 町が管理する公共交通は、平成29年度から町内のタクシー会社にすべての運行を委託している。運転手の雇用や車両の確保などの

無理により、要望に答えられない場合もあるのではないかと。以前実施していた福祉有償運送の再開について、課題として取り上げていく考えはないか。
課長 一社に委託したことによって、むしろ全体の状況が把握しやすくなった。課題を整理して今後の施策を考えたい。福祉有償運送については、今のところ実施する考えはない。
問 福祉タクシー券について、券の使用は一回一枚に限られているが、遠隔地の利用者から、一回一枚ではなく、複数枚の使用を認めてほしいという要望があるが改善する考えはないか。
課長 一枚の単価を千円に引き上げ実施して

平和都市宣言を活かして、国連の核兵器禁止条約草案への賛同を
問 国連では、核兵器禁止条約締結に向けた決議が採択され、その草案が5月には発表された。核兵器を違法とする画期的な条約案である。平和都市宣言をしている町民の願いである核兵器廃絶に向けて新たな取り組みは。
町長 現在も様々な市民運動に対して激励等を行っている。引き続き取り組んでいきたい。

若者の声で

旧ウォーターパークの再生を

町長 若い世代の意見も聞いて年内にまとめた



瀬戸 純 議員

月間とし、現地見学会などを計画し、継続的に意見を聞き11月頃までにまとめた。

「どの子も安心して過ごせる、放課後等の「居場所」整備を」

問 平成16年に休止となり、13年間放置されてきたウォーターパークの「リノベーション事業」が決まった。今年度は旧プール管理棟部分の改修とスライダーの撤去を行うとの事だが、休止してから、町は若者の参加など声を聞く機会をつくってきたのか疑問だ。町民が主体となり考えてこそ「利用したい、大事にしたい」施設になると考える。若い世代の声を聞く計画はあるか。

課長 今年9月をPR

課長 事業を理解してから事業展開して行きたい。
要望 障害などのある子どもや放課後等デイサービス実施事業者の声を聞き、安心できる「居場所」の整備を。

高校再編に際し

辰野高校存続を

問 この3月、長野県教育委員会で「学びの改革基本構想」を決定し、第2期高校再編を打ち出した。辰野高校（現在3学年12クラス）の統廃合が懸念される。辰野高校は開校当初から町の産業の活性化など大きな役割を果たしてきた。また、全国的に注目されている主催者教育としての三者協議会・辰高フォーラムの実施。町商工会などと協力し商品開発に取り組むなど、町にはなくてはならない学校だと考える。町民一体となって辰野高校存続を考える組織づくりをすべきと考えるが。



辰野高校正門

町長 辰野高校は町の歴史そのもの。なくてはならない高校。存続の方策を求めて行きたい。

辰野高校の 存続が危惧されるが

町長 高校再編統合を見据え、
存続を働き懸けたい



宮下 敏夫 議員

問 県教委から県全体の高校再編計画の基本理念・方針に関する考え方について、町へ説明はあったか。
町長 5月の県町村会で県立高校所在地の町村長に概略説明があった。町村会は、都市部への生徒集中により町村が過疎化しないよう求めた。

問 グループ分けがある中で、辰野高校の枠組みは。

教育長 3月30日の構想決定後、町教委にも示された。それによると、高校再編統合を見据え、都市部と中山間地が異なる再編基準を設けた。「都市部存立普通校」は1学年6学級以上が望ましい。「中山間地存立校」は1学年3学級以上が望ましいとなっている。

ただ、辰野高校の枠組みは決まっていない。都市部が中山間地かで状況は大きく変わってくる。

問 県教委から学びの改革・実施方針策定等、今後の検討スケジュールは示されたか。
教育長 本年度は旧通学区ごとに意見聴取をし、年度内に実施方針を決定する。来年度から旧通学区ごとに具体的な検討を始め、まとまったところから個別の再編について検討す



100周年記念式典の様子

ると聞いている。

問 辰野高校は大正2年伊北農蚕学校として開校以来様々な変遷を経て、創立100年を超えた歴史と伝統を活かし地域と深い連携を続けてきている。

地元高校の再編を危惧し、同窓会と教職員組合は町へ『地域とともに歩む辰野高校の存続を求める要望書』を提出した。こうした地元の声にどう対応するか。

町長 辰野高校は地域になくてはならない地域の宝である。
どのようにするのが一番良いのか相談し、多方面に渡って協力しながら、存続に向かって進んでいければと思っています。

スマートインターチェンジの推進は

町長 大がかりな町費投入となり、生活道路を最優先としたい



中谷 道文 議員

問 スマートインターチェンジは、企業誘致交流人口増、また若者にとって一番悩みの朝夕の交通渋滞の緩和や、町発展のための重要施設であり、人口減少対応策の一つとして、至急検討すべき重要事項と考えるが。

町長 否定はしないが、現在道路行政は予算的



再生を待つ管理棟

課長 若者が交流できる広場、トレーニングルーム、ボルダリング、ホタル関連施設等を予

町長 経営移管等の問題については相手もあることであり、むしろか

問 狙いと事業概要、実施計画は。

町長 若者や子ども達が集い、ホタルが飛び交う地域作りと遊休施設再生を進めるため。

ウオターパーク リノベーション事業

問 医師不足や経営対策の現状は。

に厳しく補助金が付きづらく、今まで通り生活道路が最優先と考える。

事務長 医師確保は、現状極めて困難な実態であり、引き続き対応していきたい。また、町からの繰入れ支援も限界があり、職員も危機感を持って対応している。



中央道荒神山付近

定。9月着工、来年3月完成、5月オープン予定を進める。
提案 食堂や土産品売り場、直売所等荒神山公園全体を考え総合的に検討してほしい。



移転後5年目を迎えた辰野病院

辰野病院の課題



最終処分場建設阻止期成同盟会

提案 コミュニティセ

課長 広報たつので記事を掲載。監視員は昨年増員し、巡視も今年から1ヶ月早めた。

問 湖周行政事務組合の最終処分場計画が辰野町へ明らかになされて9ヶ月になるが。

問 年越し枯れは早期伐倒が必要。そのためにも早期発見が重要である。住民への啓発、松くい虫監視員の巡視期間の見直しを。

町長 地元の皆さんが熱心に運動を高めている。町もホームページに考えを載せて、運動を応援していく。

課長 6本は伐倒時期から、年越し枯れの可能性がある。

問 松枯れの時期が今までと異なる年越し枯れはあるか。

問 近隣でも多額の費用をかけて伐倒処理しているが、追いついていない。作業員確保のための講習の実施を。

町長 山林関係者から担い手育成について意見を聞く。県でも年6回、3日間の技術者養成講習を行っている。

課長 樹種転換や薬剤散布については、様々な立場の人の合意形成が必要。時間もかかる。被害対策を含め、早期に検討に入るべき。

最終処分場建設阻止 期成同盟会への対応は 町長 地元の運動を応援していく



松枯れ木の燻蒸処理

課長 森林経営に関してコーディネート役が重要。地域のキーマンと連携していく。

都市計画道路の見直し計画は

町長 駅前地区整備計画の策定完了後2年以上は必要



堀内 武男 議員

ふるさと納税の考え方

納税の趣旨は。

町長 辰野町特産品等のPR及び町内産業の活性化の相乗効果を図り、辰野町の魅力を町外へ広め、交流人口の増加に寄与する役目を果たしている。

問 返礼金比率と納税による経済効果は。

課長 返礼品と寄付金額の割合は、ほとんどが30%以内となつているが、一部見直しが必要。経済効果は、事業者からは、やって良かったという感想が多く、良好と判断している。

問 返礼品調達を拡大するために地域発6次産業等との連携と育成が必要と考えるが。

課長 6次産業との連携はふるさと納税制度を語るとき大変重要な

要素であり、「辰野町食の革命プロジェクト運営協議会」が発足し、大きな武器になつていくと思う。強気に連携と育成を進めて行きたい。

カワニナの供給拡大を

問 町民参画による単

一水槽での育成推進は。

課長 カワニナ不足が懸念されるなか「家庭用水槽利用による飼育」の試験を開始した。一般町民を巻き込んだ事業としての確立を考えたい。



辰野西小学校 3年カワニナ育成装置

その他の質問項目

秋の町長選に向けて

加島町長2期目の決断要請に対し「出馬はしない」との非常に残念な答弁を受けた。

公共施設への新電力導入の考えは

町長 役場庁舎へ試験的に導入する



成瀬 恵津子 議員

問 町内公共施設全体で、28年度の電気料金

の金額は。

課長 公共施設すべて

で1億2千500万円。

問 大手電力会社と新

電力会社を比較した場合の、供給面での不安

について町の考えは。

張るということはない。新電力会社が倒産しても電気が止まることはない。

新電力の発電に異常が発生した場合でも、大手電力会社のバック

アップ供給により、電力供給が途切れることはない。災害時の復旧も遅れることはない。

問 電気料金削減について導入実施の自治体から聞き、研究する必要性は。

課長 現在、選定施設を検討している。導入した自治体に聞いて参考にしていきたい。

問 役場庁舎だけでも試験的に導入する考えは。

課長 新電力業者とつめていきたい。その結果、庁舎だけでも検討していきたい。

問 いつまでにやるか。

課長 10月頃になる。

問 削減効果が表れた場合、他の施設も考えていくか。

課長 効果が期待でき

る施設には適応していきたい。

ウォーターパーク

リノベーション事業

問 事業の目的、概要、スケジュールは。

課長 若者にとつての地域の魅力の創出、新しい人の流れを作る、町のイメージ向上が目的。平成30年5月開業予定。

問 事業計画検討のメンバーと町民の声の反映は。

課長 町の職員、集落支援員、地域おこし協力隊員が入り、高校生、インターシップ事業参加者の声を反映した。

問 園内全体の整備計画は。

課長 多目的に町民の声を聞き進めたい。

問 アクセスの整備。事業化に向け進める。



下辰野商業地区 空き店舗対策は

町長 まずは人の流れを生み出す
方策を考えていく



山寺 はる美 議員

問 下辰野商店街の活性化について、町はどのような構想で事業を進めているか。
町長 駅前関連は、住民意見をとり入れた街並み整備などが検討できる段取りになった。まずは人の流れを生み出す方策を考えていく。
課長 新しい事業では、まち歩きで空き店舗の

価値を見出し、取り壊さず再生活用する。

休眠不動産見学会

効果は

課長 これまで2回開催し、京都府や神奈川県から参加もあった。今後も奇数月に開催し、空き店舗への関心を広げていきたい。

芸術村構想と

空き店舗活用

課長 空き家や空き店舗を活用して、芸術家が表現活動、交流活動の場とする。例えばクラフト作家の人達が、作品を作りながら、展示、販売などで人を呼び込み、人の流れをつ



下辰野商店街

くるぎっかけになってくれる事を期待する構想。商店街の活性化につなげたい。

若い世代の結婚・

子育て事業は

問 婚活サポーターとして民生委員やそのOBに依頼できないか。
課長 民生委員の任務と婚活サポーターの役目とは少し性質が違っていると認識している。



問 働く親が増える中で、病児病後児保育は最重要の子育て支援策。箕輪町の生協病院への委託ではなく、辰野病院で独自実施する考えは。
町長 細やかな対応がうまく進められない部分。必要性は理解している。
事務長 空き部屋なく、医師不足で無理である。

ふるさと納税の

今日的意義と利活用は

町長 アイデアを発掘し、町づくりにも有効活用したい



宇治 徳庚 議員

問 ふるさと納税返礼品の見直しの結果は。
課長 国の見直し要求により、指摘された返礼品は取り下げざるを得ないと調整中。平成28年度は2,751件で1億5,222万円。見直し対象のカメラとICレコーダーは額で8,500万円弱の56%を占めているので影響は大きいと考えている。

辰野町ふるさと納税の推移

年度	件数(件)	ふるさと納税金額(万円)	返礼品等に係る経費(万円)	住民税控除額(万円)
H26	1,283	1,728	581	53
H27	3,159	16,647	6,645	538
H28	2,751	15,222	7,490	528

問 ふるさと納税の推移と収支の実態は。
課長 住民税控除を加味しても赤字にはなっていない。(表のとおり)

問 現行の用途別寄付に加え、17区も寄付先選択肢に入れることは。
課長 平成27年6月にも町議から小野宿街並み保存などのプロジェクトにふるさと納税の活用提案をいただいている。17区の地域計画をさらに具体化してもっと現実化して寄付を財源とすることは良い考えと思う。プロジェクトへのふるさと納税(クラウド

ファンディングのような)は、地域に愛着のある人、プロジェクトに魅力を感じている人に応援いただけるので今後採用して行きたい。
問 改めて町長の考えは。
町長 新しいアイデアも発掘し、この制度の意義を高め、さらに力を入れ町づくりに有効活用して行きたい。

県元気づくり支援金の現状と課題

問 県「地域元気づくり支援金」の町実績は。
課長 平成29年度町が3事業、公共的団体1事業(取り下げ)。19年度からは、合計82事業申請で68事業が採択。(町19、公共的団体49)
問 「ソフト事業のリニューアル」の扱い明確化、市町村と公共的団体は、「別テーブル」とすべきと思うが。
課長 6月30日に予定している上伊那市町村担当者会議の意見交換会で提言したい。

荒神山へオアシス型

スマートインターの設置を

町長 これからも検討して議論していただきたい



小澤 睦美 議員

問 通勤時間帯での交通渋滞解消等に向けてスマートインターチェンジの設置の考えは。

町長 私の任期の中では実現されないが、これからも検討・議論をしていただくことは良いと思う。

次期学習指導要領に向けての指導法と取り組みは

教育長 従来の覚えるという受け身の学習から、課題解決に向けて、子ども自らが積極的に取り組む学習を、先生

方が行っていくこと。来年度から国語や外国語などで取り組んで行く。

問 現状の川島小学校で、取り組みが可能か。

教育長 児童が、主体的に相談・協力しながら課題に取り組む、あるいは発表し合うという授業は、対象である児童が学年1人であるとか、教室に1人では厳しいだろうと言える。

横川溪谷を観光資源とする取り組みは

問 「横川溪谷原生林トレッキング」を目的とした観光客の受け入れ態勢は。

課長 昨年度は、総務省から講師を招き、観光ガイドの啓発、受け入れ態勢の構築を重要なテーマとして取り組んだ。今年度は引き続き、

住民主導となるよう専門家による観光ガイドの養成に取り組む。

問 蛇石から三級の滝への林道ゲートの歩行者口は広げられないか。

課長 国の回答としては、現状では、他の国有林と同じルールを適用せざるを得ないとのことである。



林道ゲートの歩行者口

問 横川ダム発電所計画や、県道編入など県も観光面で、配慮している。町も観光協会が関わり、観光推進を図るべきでは。

課長 様々な受け入れ態勢の整備が求められている。今年度事業化を進める横川溪谷についても、そのような観点から取り組みを進める。

オアシス併設型スマートインターの構想を

町長 壮大過ぎて難しい



垣内 彰 議員

問 平成25年9月の議会で設置のための調査費を承認した。その後の経過、調査機関、調査費、構想設計等は。

町長 荒神山周辺で本線直結型のスマートインターを試算。総額18億2千万円という案が3案の中で一番良いという結論になっている。(本会議後の全員

協議会で、調査機関は「長野技研」、費用は485万1千円、発注は平成25年10月、報告は平成26年3月20日と回答)

問 国交省飯田事務所の話では、スマートインター維持に年4千万円位かかるとのこと。NEXCOとしてもスマートインターを造ることによって利用者が増え、4千万円位増収にならないと難しいという。

そうすると、荒神山の再開発と合わせたハイウェイオアシス併設型のスマートインターでない限り、その増収効果は期待できないのではないか。庁内の知



調査機関による設置案のひとつ

恵を集めて、あと3、4ヶ月の間に「計画してみる」と言う気はないか。

町長 ハイウェイオアシスそのものはどこかに無理があると思っていて。壮大過ぎて難しいと思う。

不出馬再考は

問 不出馬の要因は。

町長 四年間という期間を考えると体力的にも、不安が残る。

問 結論を延ばし、9月議会の始まりまで待てないか。

町長 言葉に出したことは・・・。

川島小学校のあり方

問 何が何でも残せという意見には反対だが、将来に条件をつけて、こうなったら再開できるという結論の出し方はできるか。

教育長 今話せる段階ではない。議員が述べられた意見は承知しておく。

～正副議長 各委員長 ご挨拶～

申し合わせ任期2年満了により、5月臨時議会において正副議長等の改選が行われました。

議長選挙には、岩田清議員、宮下敏夫議員が立候補し、ともに7票を獲得したため、抽選により岩田議員が当選しました。副議長選挙では、堀内武男議員、中谷道文議員が立候補し、堀内議員8票、中谷議員6票により、堀内議員が当選しました。



議長 岩田 清

この度の改選で議長に就任致しました。二元代表制の一翼を担う議会は、様々な改革を行ってきましたが、町民目線からすれば十分なものとは言えないと自覚しております。

町は、少子高齢化が進み人口2万人を割り込みました。安全で安心できるコンパクトタウンとして着地できるかが喫緊の課題です。より一層「開かれた議会」を目指し、町民の皆様の期待に添えるべく改革を行って参りますので、ご指導、ご鞭撻の程お願い申し上げます。



副議長 堀内 武男

辰野町は人口減少対策・辰野病院を含む地域医療・教育関連・高齢者福祉・道路行政・働く場所の確保等多くの課題が有機的に絡まるなか、カギを握っているのは次世代を担う若い人達の参画です。同時に地方創生の原点は地域の活性化であり、住民参加のなかで住民の声を吸い上げ、行政への反映と情報の伝達が議会の責務と考えます。町民に信頼される議会を目指し、議員自らの研鑽を重ね、更なる活性化に取り組んで参ります。



総務産業
常任委員長
熊谷 久司

人口減少が著しい辰野町ですが、対策として効果的なのは町の経済を強くし、就業機会を多くすることだと思います。辰野町は東京・名古屋から2時間ちょっとの距離にあり、人の移動や物流にも便利なところです。また4方の市町村に隣接しているので、交通環境を向上させることで就業機会の増加が見込めます。つまり町内及び隣接市町への道路整備が最も重要と考えています。



福祉教育
常任委員長
垣内 彰

福祉・教育行政は、国の制度の変更によって、町も制度と仕組みの見直しをしつつあります。変化の時代に、住民の対応が付いていけない状況にあるとも言えます。学ぶだけではなく、提言するだけでもない、「成果」を残せる委員会にしたい・・・と、委員の思いも高まっています。目標とする「成果」の合意を得て、そのための道筋と日程を決め、実現させたいと思います。



議会運営委員長
篠平 良平

議会運営委員長に選任されました篠平です。目まぐるしく変化する社会情勢の中、二元代表制の一翼を担う地方議会の役割は重く、重要課題が山積しております。取り分け議会の永遠のテーマであります「議会改革・議会活性化」を進め、議運の果たすべき役割を十分認識し、公平・公正を旨として円滑な議会運営に努めて参ります。

表紙には、地域おこし協力隊の関本直弘さんのイラストをお願いしました。関本さんの作品を通して、子供たちの成長する姿などから、この町の魅力や優しさをお伝えできれば、と思っています。

新しい広報委員による議会だよりの第一号をお届けします。委員は半数が交代しました。前号から、少しずつ紙面の改革に取り組んでいます。一層の改革・充実を図っていきたく思います。ややもすると、町民の皆さんに「読んでもらいたい」という思いが強くなっていないか、という反省があります。むしろ、町民の皆さんが何を知らたがっているのか、それを伝えることが大事ではないかと思えます。そのためにも、是非、皆さんの声を届けていただければ嬉しく思います。

編集後記

広報委員長 向山 光